

やましろ ひろじ
山城 博治 さん

沖縄平和運動センター議長

2002年 沖縄県職労副委員長
2004年 自治労沖縄県
県本部副委員長 沖縄平和
運動センター事務局長 全
国基地ネットワーク事務局
長を経て現職



「かつて自民党で県政の重鎮だった人たち、副知事を歴任した人、県議会議長を経験した人、県議会議長を経験した人。こんな人たちが今の県政のありよう、今の政治のありようをおかしいと言って、私たちのほうへ総結集を始めています。これはかつてない現象です。私たちはもう保革の論争を超えたところにいます。これでもかと押し寄せてくる政府権力に対し、もう一度オール沖縄の図をつくらなければならない」「世界で他にない米軍基地がつけられてそこから日中戦争が始まろうとする」「この国はまた沖縄を戦争に差し出そうとしている。1945年の沖縄戦のように、『沖縄さん、お願いだからもう一回祖国防衛のために戦ってくれませんか、玉砕の島になってくれませんか』。こういうことだと思うわけですよ」(集会での発言より)

なかざと としのぶ
仲里 利信 さん

元 沖縄県議会議長
元 自民党沖縄県連顧問



2013年11月、自民党県連の県内移設容認への方針転換を受けて、西銘衆議院議員後援会長と自民党沖縄県連の顧問を辞任し、離党。2014年1月、名護市長選挙で稲嶺市長再選に尽力。

「今こそ、沖縄のアイデンティティーを世界に示すとき。遠からず、沖縄をはじめとする日本に対する米軍駐留と、日米安保条約の是非も問わなければならない「安倍政権のやり方は戦争まっしぐらだ。新防衛大綱・中期防衛力整備で、沖縄を『安全保障上極めて重要な位置』とした。尖閣諸島をめぐる中国との対立に対処するため、県内の自衛隊基地の強化が持ち込まれた。辺野古を認めれば、沖縄は際限なく基地化される。米軍は『沖縄が基地を認めたんだから』と解釈して、増強を止めることはできない。辺野古に基地を造ってしまうと米軍撤退は不可能。知事の承認で、菅官房長官は「日米同盟は向こう50年安泰だ」と述べた。沖縄は米軍の軍事植民地として放置された。主権もない、民主主義もない」(インタビューより)

呼びかけ・賛同人 (続き) 松原 博 新護憲神奈川代表/桧鼻 達実 (県央ユニオン委員長) /深沢 一夫 (沖縄の自立解放闘争に連帯し反安保を闘う連続講座) /伊藤 成彦 (かながわ平和憲法を守る会共同代表・中央大学名誉教授) /高梨 晃嘉 (日朝国交正常化をすすめる神奈川県民の会事務局長) /喜多村・谷田部 (ジョアン川崎) /郡司 真弓 (WEジャパン平和政策チーム) /山城 保男 (横須賀市議会議員) (3月30日現在)

実行委員会連絡先 045-642-5553(仲宗根) 045-228-7185(小原) 090-8804-8064(瀬川)